



平成22年国勢調査 移動人口の男女・年齢等集計結果

◇◇ 会津若松市の結果概要 ◇◇

平成22年国勢調査の概要

国勢調査は統計法に基づき、日本国内の人口、世帯、就業者からみた産業構造などの状況を地域別に明らかにする統計を得るために行われる、国の最も基本的な統計調査です。

調査は、5年ごとに行われており、平成22年（2010年）に行われた調査は、その19回目に当たります。

国勢調査では、10月1日現在、日本国内にふだん住んでいるすべての人を、ふだん住んでいるところで調査します。このため、日本に住んでいる外国人も、国籍に関係なく、調査の対象となります。

調査の法的根拠

平成22年国勢調査は、統計法（平成19年法律第53号）第5条第2項の規定並びに次の政令及び総理府令に基づいて行われました。

国勢調査令（昭和55年政令第98号）

国勢調査施行規則（昭和55年総理府令第21号）

国勢調査の調査区の設定の基準等に関する総理府令（昭和59年総理府令第24号）

平成22年10月1日現在で実施された「平成22年国勢調査」における移動人口の男女・年齢等集計結果が総務省統計局から公表されましたので、会津若松市分の結果をとりまとめました。

移動人口の男女・年齢等集計結果は、全ての調査票を用いて、平成17年国勢調査時の常住地（5年前の常住地）と平成22年国勢調査時の常住地を比較することにより、人口の転出入状況について男女・年齢別等に集計したものです。

平成24年12月

会津若松市総務部情報政策課

目 次

利用上の注意	1
用語の説明	2
結果の概要	
1 移動人口	6
2 転入状況	7
3 転出状況	8

統計表

第1表	5年前の常住地別, 年齢(5歳階級), 男女別人口(転入)	16
第2表	5年前の常住地別, 男女別人口及び15歳以上就業者数(転入)	18
第3表	5年前本市常住者の現住所別, 男女別人口及び15歳以上就業者数(転出)	19

利 用 上 の 注 意

1. この報告書は、平成22年10月1日現在で実施した平成22年国勢調査移動人口の男女・年齢等集計結果の会津若松市分結果を収録したものです。
2. 統計表中の符号は次のとおりです。
「0」、「0.0」……………単位未満の数
「—」……………該当数字のないもの
3. 構成比については、単位。未満を四捨五入したため、総数と内訳が一致しないことがあります。

※この報告書は、「総務省統計局編 平成22年国勢調査 移動人口の男女・年齢等集計結果」をもとに作成しています。

用語の説明

人口

国勢調査における人口は「常住人口」で、常住人口とは調査時に調査の地域に常住している人口です。

面積

面積は、国土交通省国土地理院(以下「国土地理院」という)が公表した平成22年10月1日現在の「平成22年全国都道府県市区町村別面積調」によっています。

ただし、①市区町村の境界に変更等があっても国土地理院の調査が未了のため変更以前の面積が表示されているもの、②境界未定のため関係市町村の合計面積のみが表示されているもの、がありますので、これらについて、総務省統計局において面積を推定し、その旨を注記しています。

なお、人口集中地区の面積は、総務省統計局において測定したものです。

年齢

年齢は、調査日前日による満年齢です。

年齢3区分は次のとおりです。(年齢3区分人口には年齢不詳の人口は含まれません。)

年少人口 :15歳未満の人口

生産年齢人口:15～64歳の人口

老年人口 :65歳以上の人口

配偶関係

配偶関係は、届出の有無にかかわらず、実際の状態により区分しています。

未婚:まだ結婚をしたことのない人

有配偶:届出の有無に関係なく、妻又は夫のある人

死別:妻又は夫と死別して独身の人

離別:妻又は夫と離別して独身の人

世帯の種類

世帯の種類は、**一般世帯**と**施設等の世帯**に区分しています。

一般世帯とは、次のものをいいます。

(1)住居と生計を共にしている人々の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者

ただし、これらの世帯と住居を共にする単身の住み込みの雇人については、人数に関係なく雇主の世帯に含めています。

(2)上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者又は下宿屋などに下宿している単身者

(3)会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舍、独身寮などに居住している単身者

施設等の世帯とは、次のものをいいます。なお、世帯の単位は、原則として下記の(1)、(2)及び(3)は棟ごと、(4)は中隊又は艦船ごと、(5)は建物ごと、(6)は一人一人です。

(1)寮・寄宿舍の学生・生徒:学校の寮・寄宿舍で起居を共にし、通学している学生・生徒の集まり

(2)病院・療養所の入院者:病院・療養所などに、既に3か月以上入院している入院患者の集まり

(3)社会施設の入所者:老人ホーム、児童保護施設などの入所者の集まり

- (4) 自衛隊営舎内居住者:自衛隊の営舎内又は艦船内の居住者の集まり
- (5) 矯正施設の入所者:刑務所及び拘置所の被収容者並びに少年院及び婦人補導院の在院者の集まり
- (6) その他:定まった住居を持たない単身者や陸上に生活の本拠(住所)を有しない船舶乗組員など

世帯人員

世帯人員とは、世帯を構成する各人(世帯員)を合わせた数をいいます。

世帯の家族類型

一般世帯を、その世帯員の世帯主との続き柄により、次のとおり区分しています。

- A 親族のみの世帯:**二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にある世帯員のみからなる世帯。
- B 非親族を含む世帯:**二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にない者がいる世帯。
- C 単独世帯:**世帯人員が一人の世帯。

3世代世帯

3世代世帯とは、世帯主との続き柄が、祖父母、世帯主の父母(又は世帯主の配偶者の父母)、世帯主(又は世帯主の配偶者)、子(又は子の配偶者)及び孫の直系世代のうち、3つ以上の世代が同居していることが判定可能な世帯をいい、それ以外の世帯員がいるか否かは問いません。したがって、4世代以上が住んでいる場合も含まれます。また、世帯主の父母、世帯主、孫のように、子(中間の世代)がない場合も含まれます。一方、叔父、世帯主、子のように、傍系の3世代世帯は含まれません。

母子世帯・父子世帯

母子世帯とは、未婚、死別又は離別の女親と、その未婚の20歳未満の子供のみから成る一般世帯(他の世帯員がないもの)をいいます。

父子世帯とは、未婚、死別又は離別の男親と、その未婚の20歳未満の子供のみから成る一般世帯(他の世帯員がないもの)をいいます。

母(父)子世帯(他の世帯員がいる世帯を含む)

未婚、死別又は離別の女(男)親と、その未婚の20歳未満の子供及び他の世帯員から成る一般世帯を含めた世帯をいいます。

高齢単身世帯・高齢夫婦世帯

高齢単身世帯とは、65歳以上の者一人のみの一般世帯(他の世帯員がないもの)をいいます。

高齢夫婦世帯とは、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組の一般世帯(他の世帯員がないもの)をいいます。

住居の種類

一般世帯について、住居を、次のとおり区分しています。

- (1) 住宅:一つの世帯が独立して家庭生活を営むことができる建物(完全に区画された建物の一部を含む。)
一戸建ての住宅はもちろん、アパート、長屋などのように家庭生活を営むことができるような構造になっている場合は、各区画ごとに一戸の住宅となります。
なお、店舗や作業所付きの住宅もこれに含まれます。
- (2) 住宅以外:寄宿舎・寮など生計を共にしない単身者の集まりを居住させるための建物や、病院・学校・旅館・会社・工場・事務所などの居住用でない建物
なお、仮小屋・天幕小屋など臨時応急的に造られた住居などもこれに含まれます。

住宅の所有関係

住宅に居住する一般世帯について、住宅の所有の関係を、次のとおり区分しています。

- (1) 主世帯:「間借り」以外の以下の5区分に居住する世帯
 - ① 持ち家:居住する住宅がその世帯の所有である場合
なお、所有する住宅は、登記の有無を問いません。また、分割払いの分譲住宅などで支払いが完了していない場合も含まれます。
 - ② 公営の借家:その世帯の借りている住宅が都道府県営又は市(区)町村営の賃貸住宅やアパートであって、かつ給与住宅でない場合
 - ③ 都市機構・公社の借家:その世帯の借りている住宅が都市再生機構又は都道府県・市区町村の住宅供給公社・住宅協会・開発公社などの賃貸住宅やアパートであって、かつ給与住宅でない場合
なお、これには、雇用・能力開発機構の雇用促進住宅(移転就職者用宿舎)も含まれます。
 - ④ 民営の借家:その世帯の借りている住宅が「公営の借家」、「都市機構・公社の借家」及び「給与住宅」でない場合
 - ⑤ 給与住宅:勤務先の会社・官公庁・団体などの所有又は管理する住宅に、職務の都合上又は給与の一部として居住している場合
なお、この場合、家賃の支払いの有無を問わない。また、勤務先の会社又は雇主が借りている一般の住宅に住んでいる場合も含まれる。
- (2) 間借り:他の世帯が住んでいる住宅(持ち家、公営の借家、都市機構・公社の借家、民営の借家、給与住宅)の一部を借りて住んでいる場合

延べ面積

延べ面積とは、各居住室(居間、茶の間、寝室、客間、書斎、応接間、仏間、食事室など居住用の室)の床面積のほか、その住宅に含まれる玄関・台所・廊下・便所・浴室・押し入れなども含めた床面積の合計をいいます。ただし、農家の土間や店舗併用住宅の店・事務室など営業用の部分は延べ面積には含まれません。また、アパートやマンションなどの共同住宅の場合は、共同で使用している廊下・階段など共用部分は、延べ面積には含まれません。

なお、坪単位で記入されたものについては1坪を3.3m²に換算しています。

住宅の建て方

各世帯が居住する住宅を、その建て方について、次のとおり区分しています。

- (1) 一戸建:1建物が1住宅であるもの

なお、店舗併用住宅の場合でも、1建物が1住宅であればここに含まれます。

(2) **長屋建**:二つ以上の住宅を一棟に建て連ねたもので、各住宅が壁を共通にし、それぞれ別々に外部への出入口をもっているもの

なお、いわゆる「テラス・ハウス」も含まれます。

(3) **共同住宅**:一棟の中に二つ以上の住宅があるもので、廊下・階段などを共用しているものや二つ以上の住宅を重ねて建てたもの

なお、階下が商店で、2階以上に二つ以上の住宅がある、いわゆる「げたばき住宅」も含まれる。

(4) **その他**:上記以外で、例えば、工場や事務所などの一部に住宅がある場合や、寄宿舍・独身寮、ホテル、病院などの住宅以外の建物の場合

人口集中地区

昭和 28 年の町村合併促進法及び昭和 31 年の新市町村建設促進法による町村合併や新市の創設などにより市部地域が拡大され、市部・郡部別の地域表章が必ずしも都市的地域と農村的地域の特質を明瞭に示さなくなったため、この都市的地域の特質を明らかにする統計上の地域単位として、昭和 35 年国勢調査から新たに人口集中地区を設定しています。

平成 22 年国勢調査の「人口集中地区」は、以下の 3 点を条件として設定しています。

- (1) 平成 22 年国勢調査基本単位区を基礎単位地域とする。
- (2) 市区町村の境域内で人口密度の高い基本単位区(原則として人口密度が1 km²当たり 4,000 人以上)が隣接していること。
- (3) それらの地域の人口が平成 22 年国勢調査時に 5,000 人以上を有すること。

1 移動人口

平成22年国勢調査における本市の人口（126,220人）のうち、5年前に現住所以外の場所に住んでいた者（移動人口）の割合は21.3%で、全国の移動人口割合の22.8%と比べ割合が低くなっています。

移動人口を5年前の常住地別に見ると、「自市内」が12.1%と最も高く、次いで「県内各市町村」5.3%、「県外」が3.7%、「国外」が0.2%となっています。

表1 5年前の常住地別人口(平成22年)

5年前の常住地	会津若松市		全国	
	人口 1)	割合(%) 2)	人口 1)	割合(%) 2)
総数 3)	126,220		128,057,352	
現住所	96,335	78.7	92,439,140	77.2
現住所外(移動人口)	26,061	21.3	27,230,588	22.8
自市内4)	14,861	12.1	13,698,880	11.4
県内各市町村	6,443	5.3	6,088,330	5.1
県外	4,524	3.7	6,862,317	5.7
国外	233	0.2	581,061	0.5

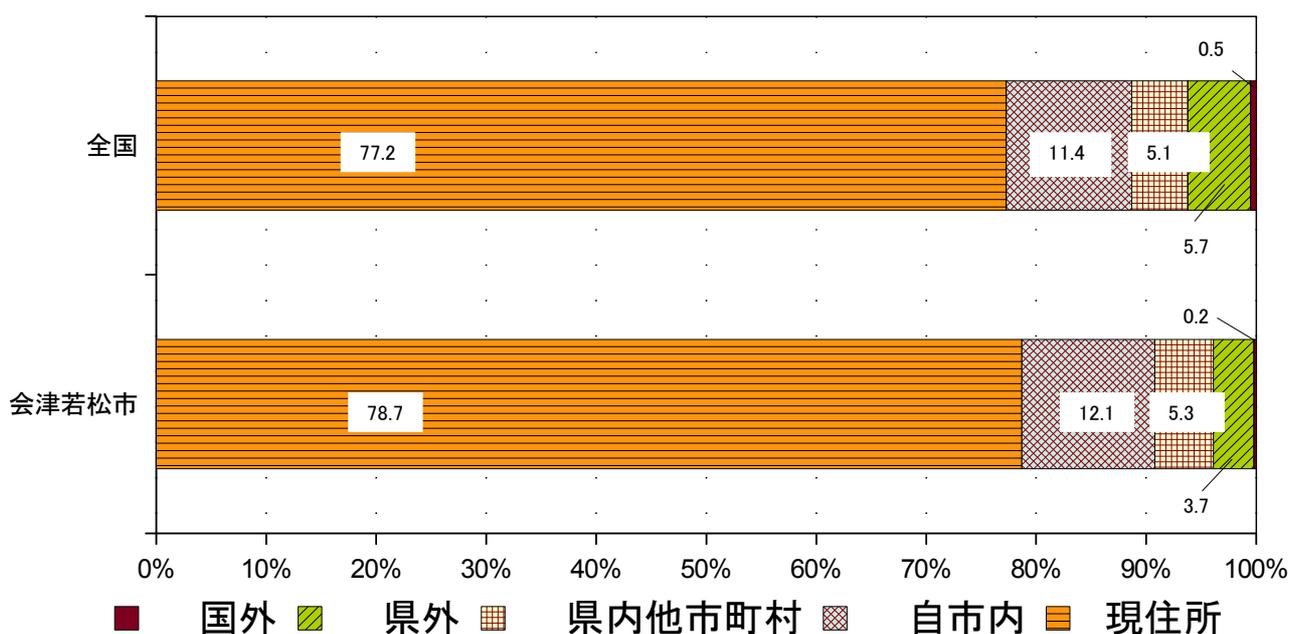
1) 5歳未満については、出生後にふだん住んでいた場所による。

2) 5年前の常住地不詳を除いて算出している。

3) 5年前の常住地「不詳」で、当地に現住している者を含む。

4) 全国については自市区町村内+自市内他区の合計となっている。

図1 5年前の常住地別人口の割合(平成22年)



2 転入状況

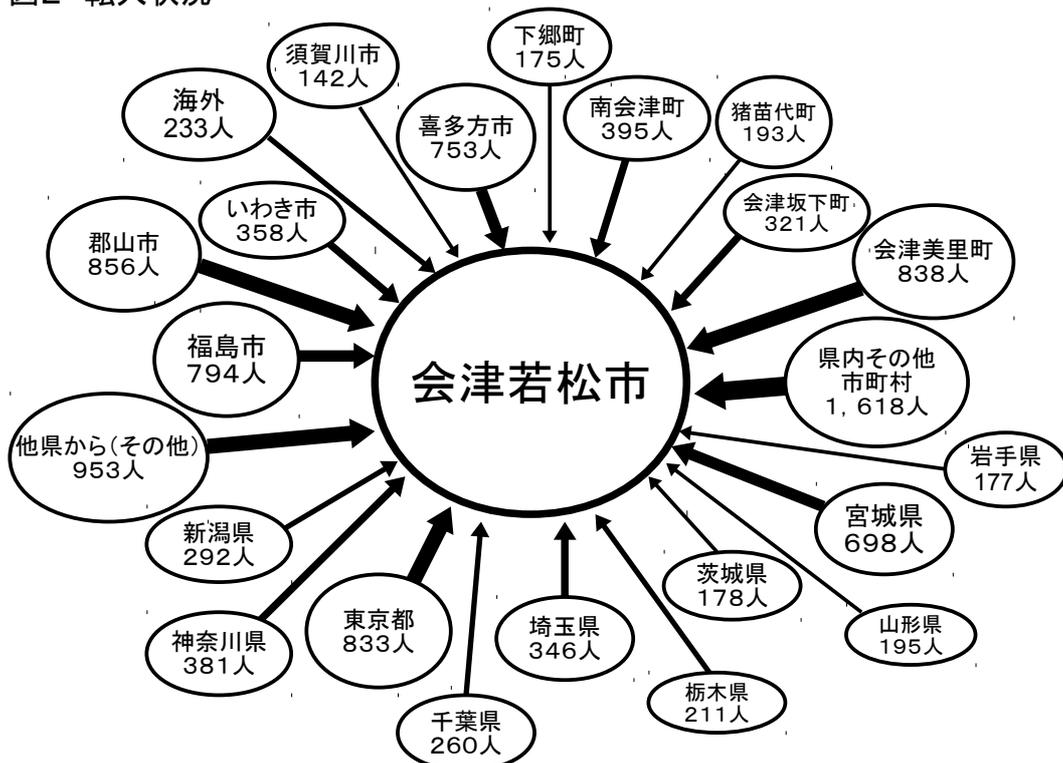
市外からの転入者数は11,200人で、5年前の常住地別にみると「県内他市町村から」が6,443人、「他県から」が4,524人、「国外から」が233人となっています。
 「県内他市町村から」の内訳をみると「郡山市」が856人で最も多く、次いで「会津美里町」838人、「福島市」794人と続いています。
 「他県から」の内訳をみると、「東京都」が833人と最も高く、次いで「宮城県」698人、「神奈川県」が381人と続いています。

表2 転入状況

5年前の常住地	人数	5年前の常住地	人数
総数	11,200	他県から	4,524
県内他市区町村から 1)	6,443	東京都 2)	833
郡山市	856	宮城県 2)	698
会津美里町	838	神奈川県 2)	381
福島市	794	埼玉県 2)	346
喜多方市	753	新潟県 2)	292
南会津町	395	千葉県 2)	260
いわき市	358	栃木県 2)	211
会津坂下町	321	山形県 2)	195
猪苗代町	193	茨城県 2)	178
下郷町	175	岩手県 2)	177
須賀川市	142	その他 2)	953
その他 1)	1,618	国外から	233

- 1) 5年前の常住地が県内で、5年前の常住市区町村「不詳」を含む。
- 2) 5年前の常住地が他県で、5年前の常住市区町村「不詳」を含む。

図2 転入状況



3 転出状況

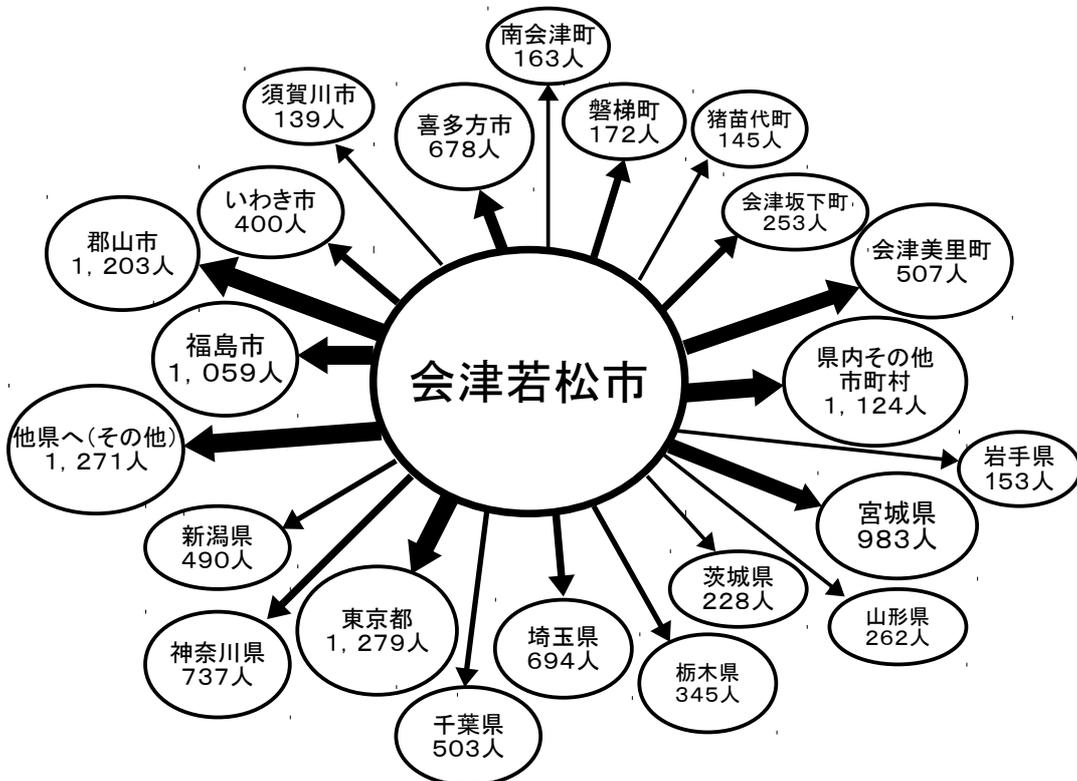
5年前、本市に常住だった人で市外への転出は12,788人で、その内訳は「県内各市町村へ」5,843人、「他県へ」6,945人となっています。
 転出先が「県内各市町村へ」を詳しく見てみると、「郡山市」が1,203人で最も多く、次に「福島市」1,059人、「喜多方市」678人と続いています。
 転出先が「他県へ」を詳しく見てみると、「東京都」が1,279人で最も多く、「宮城県」983人、「神奈川県」737人と続いています。

表3 転出状況

転出先	人数	転出先	人数
総数	12,788	他県へ	6,945
県内各市町村へ	5,843	東京都	1,279
郡山市	1,203	宮城県	983
福島市	1,059	神奈川県	737
喜多方市	678	埼玉県	694
会津美里町	507	千葉県	503
いわき市	400	新潟県	490
会津坂下町	253	栃木県	345
磐梯町	172	山形県	262
南会津町	163	茨城県	228
猪苗代町	145	岩手県	153
須賀川市	139	その他	1,271
その他	1,124		

※海外への転出は除く

図3 転出状況



※海外への転出は除く

統 計 表

第1表	5年前の常住地別, 年齢(5歳階級), 男女別人口(転入)	16
第2表	5年前の常住地別, 男女別人口及び15歳以上就業者数(転入)	18
第3表	5年前本市常住者の現住所別, 男女別人口及び15歳以上就業者数 (転出)	19

1. この統計表は、平成22年10月1日現在で実施した平成22年国勢調査移動人口の男女・年齢等集計結果の会津若松市結果を収録したものです。
2. 統計表中の符号は次のとおりです。
「0」、「0.0」 単位未満の数
「-」 該当数字のないもの
3. 構成比については、単位未満を四捨五入したため、総数と内訳が一致しないことがあります。

第1表 本市常住者の5年前常住地別、年齢(5歳階級)、男女別人口(転入)(転出—特掲)

5年前の常住地	総数	0～4歳 ¹⁾	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
常住者 2)	126,220	5,050	5,695	6,523	6,511	5,385	6,125	7,002	7,814
現住所	96,335	3,878	3,557	5,107	4,907	3,003	2,840	3,545	4,816
自市町村内	14,861	687	1,362	951	680	665	1,309	1,736	1,601
転入	11,200	332	632	330	758	1,460	1,680	1,457	1,144
県内他市区町村から	6,443	211	425	217	478	722	805	866	656
他県から	4,524	114	194	105	273	715	825	556	454
国外から	233	7	13	8	7	23	50	35	34
(別掲)転出	12,788	398	759	417	1,197	2,454	1,516	1,466	1,235
(別掲)県内他市区町村へ	5,843	270	456	218	328	564	681	806	649
(別掲)他県へ	6,945	128	303	199	869	1,890	835	660	586
男 2)	59,854	2,578	2,889	3,255	3,230	2,751	3,114	3,564	3,858
現住所	45,047	1,967	1,836	2,533	2,415	1,507	1,554	1,874	2,386
自市町村内	6,667	365	653	504	360	279	534	784	735
転入	6,044	166	333	157	362	823	873	755	595
県内他市区町村から	3,217	111	219	109	209	332	373	448	328
他県から	2,719	53	106	47	150	475	477	296	253
国外から	108	2	8	1	3	16	23	11	14
(別掲)転出	6,778	216	412	211	648	1,298	705	708	651
(別掲)県内他市区町村へ	2,932	147	247	111	184	274	250	366	331
(別掲)他県へ	3,846	69	165	100	464	1,024	455	342	320
女 2)	66,366	2,472	2,806	3,268	3,281	2,634	3,011	3,438	3,956
現住所	51,288	1,911	1,721	2,574	2,492	1,496	1,286	1,671	2,430
自市町村内	8,194	322	709	447	320	386	775	952	866
転入	5,156	166	299	173	396	637	807	702	549
県内他市区町村から	3,226	100	206	108	269	390	432	418	328
他県から	1,805	61	88	58	123	240	348	260	201
国外から	125	5	5	7	4	7	27	24	20
(別掲)転出	6,010	182	347	206	549	1,156	811	758	584
(別掲)県内他市区町村へ	2,911	123	209	107	144	290	431	440	318
(別掲)他県へ	3,099	59	138	99	405	866	380	318	266

1) 5歳未満については、出生後にふだん住んでいた場所による。

2) 5年前の常住地「不詳」で、当地に現住している者を含む。

40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	不詳
7,426	8,214	8,637	9,479	9,379	7,566	7,340	6,868	5,550	4,715	941
5,386	6,633	7,342	8,313	8,378	6,890	6,719	6,311	4,963	3,745	2
1,096	810	639	610	579	435	373	332	360	634	2
738	568	506	406	303	162	140	148	178	257	1
422	306	295	225	148	90	89	105	144	239	-
298	245	200	174	154	71	50	43	34	18	1
18	17	11	7	1	1	1	-	-	-	-
867	613	489	384	275	124	95	107	157	235	-
447	304	253	223	161	79	49	69	107	179	-
420	309	236	161	114	45	46	38	50	56	-
3,633	4,057	4,291	4,688	4,647	3,535	3,103	2,744	2,041	1,299	577
2,561	3,166	3,564	4,032	4,103	3,204	2,844	2,529	1,873	1,098	1
522	375	292	298	276	214	144	124	93	114	1
453	390	353	257	200	84	62	65	55	60	1
239	195	199	141	91	46	42	41	41	53	-
203	191	146	111	108	38	19	24	14	7	1
11	4	8	5	1	-	1	-	-	-	-
536	406	337	255	163	64	40	34	44	50	-
270	187	172	139	97	44	24	23	32	34	-
266	219	165	116	66	20	16	11	12	16	-
3,793	4,157	4,346	4,791	4,732	4,031	4,237	4,124	3,509	3,416	364
2,825	3,467	3,778	4,281	4,275	3,686	3,875	3,782	3,090	2,647	1
574	435	347	312	303	221	229	208	267	520	1
285	178	153	149	103	78	78	83	123	197	-
183	111	96	84	57	44	47	64	103	186	-
95	54	54	63	46	33	31	19	20	11	-
7	13	3	2	-	1	-	-	-	-	-
331	207	152	129	112	60	55	73	113	185	-
177	117	81	84	64	35	25	46	75	145	-
154	90	71	45	48	25	30	27	38	40	-

第2表 本市常住者の5年前常住地別, 男女別人口及び15歳以上就業者数(転入)

5年前の常住地	人口 1)			15才以上就業者数			(再掲)5歳以上人口		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
常住者 2)	126,220	59,854	66,366	57,498	31,416	26,082	120,229	56,699	63,530
現住所	96,335	45,047	51,288	44,091	23,791	20,300	92,455	43,079	49,376
自市町村内	14,861	6,667	8,194	7,178	3,607	3,571	14,172	6,301	7,871
不詳	3,824	2,096	1,728	218	111	107	2,735	1,442	1,293
転入	11,200	6,044	5,156	6,011	3,907	2,104	10,867	5,877	4,990
県内他市区町村から 3)	6,443	3,217	3,226	3,364	2,047	1,317	6,232	3,106	3,126
郡山市	856	454	402	454	299	155	820	433	387
会津美里町	838	368	470	446	233	213	812	357	455
福島市	794	493	301	499	379	120	767	477	290
喜多方市	753	343	410	411	208	203	730	327	403
南会津町	395	184	211	156	86	70	384	179	205
いわき市	358	210	148	189	145	44	334	199	135
会津坂下町	321	132	189	179	76	103	315	129	186
猪苗代町	193	82	111	104	54	50	190	81	109
下郷町	175	85	90	69	41	28	169	81	88
須賀川市	142	73	69	71	42	29	134	69	65
その他 3)	1,618	793	825	786	484	302	1,577	774	803
他県から	4,524	2,719	1,805	2,562	1,802	760	4,409	2,665	1,744
東京都 4)	833	475	358	468	308	160	808	459	349
宮城県 4)	698	405	293	423	298	125	679	395	284
神奈川県 4)	381	227	154	214	150	64	375	225	150
埼玉県 4)	346	212	134	183	134	49	337	211	126
新潟県 4)	292	161	131	190	121	69	287	160	127
千葉県 4)	260	156	104	135	95	40	257	156	101
栃木県 4)	211	134	77	116	87	29	204	130	74
山形県 4)	195	132	63	133	98	35	192	129	63
茨城県 4)	178	108	70	93	59	34	170	105	65
岩手県 4)	177	109	68	108	87	21	174	107	67
その他 4)	953	600	353	499	365	134	926	588	338
国外から	233	108	125	85	58	27	226	106	120

- 1) 5歳未満については、出生後にふだん住んでいた場所による。
- 2) 5年前の常住地「不詳」で、当地に現住している者を含む。
- 3) 5年前の常住地が県内で、5年前の常住市区町村「不詳」を含む。
- 4) 5年前の常住地が他県で、5年前の常住市区町村「不詳」を含む。

第3表 5年前本市常住者の現住所別、男女別人口及び15歳以上就業者数(転出)

	人口 1)			15才以上就業者			(再掲)5歳以上人口		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
5年前の常住者	123,984	58,492	65,492	58,354	31,838	26,516	119,017	55,942	63,075
現住所	96,335	45,047	51,288	44,091	23,791	20,300	92,455	43,079	49,376
自市町村内	14,861	6,667	8,194	7,178	3,607	3,571	14,172	6,301	7,871
転出	12,788	6,778	6,010	7,085	4,440	2,645	12,390	6,562	5,828
県内他市区町村へ	5,843	2,932	2,911	3,095	1,867	1,228	5,573	2,785	2,788
郡山市	1,203	625	578	623	385	238	1,145	598	547
福島市	1,059	568	491	559	382	177	1,015	543	472
喜多方市	678	302	376	320	158	162	651	284	367
会津美里町	507	191	316	223	102	121	483	176	307
いわき市	400	242	158	211	154	57	383	230	153
会津坂下町	253	92	161	137	60	77	233	84	149
磐梯町	172	79	93	76	45	31	157	70	87
南会津町	163	82	81	109	58	51	153	78	75
猪苗代町	145	69	76	80	45	35	139	66	73
須賀川市	139	70	69	81	47	34	133	65	68
その他	1,124	612	512	676	431	245	1,081	591	490
他県へ	6,945	3,846	3,099	3,990	2,573	1,417	6,817	3,777	3,040
東京都	1,279	671	608	777	453	324	1,264	664	600
宮城県	983	536	447	537	325	212	963	525	438
神奈川県	737	430	307	454	310	144	724	421	303
埼玉県	694	375	319	397	244	153	683	367	316
千葉県	503	275	228	300	207	93	494	273	221
新潟県	490	280	210	237	152	85	481	275	206
栃木県	345	201	144	208	144	64	338	198	140
山形県	262	147	115	141	98	43	254	144	110
茨城県	228	123	105	148	90	58	226	122	104
岩手県	153	78	75	82	53	29	152	78	74
その他	1,271	730	541	709	497	212	1,238	710	528

1) 5歳未満については、出生後にふだん住んでいた場所による。

平成22年国勢調査
移動人口の男女・年齢等集計結果
◇◇ 会津若松市の結果概要 ◇◇

平成24年12月発行

編集 会津若松市 総務部 情報政策課 統計グループ

〒965-8601 会津若松市東栄町3番46号

TEL (0242) 39-1215